



私がはたらく理由。

- 03 Global CEO 年始メッセージ
- 04 特集
私のはたらき理由。
- 12 ブリヂストンの現場力
— 大型・超大型タイヤの生産現場
- 16 師匠と弟子
— (株)ブリヂストン 下関工場
- 18 CHASE YOUR DREAM
— 萩野 公介さん 特別インタビュー
— 北京2022冬季オリンピック・パラリンピック
- 21 こんにちは アローです!
— ブリヂストンタイヤリサイクルセンター大阪 (株)
代表取締役社長 若井 真人さん
- 22 わが町 わが職場 わが仲間【Season 2】
— 和歌山県
- 24 Web版Arrowをリニューアルしました!
- 26 お客様の声
- 27 ありがとうの気持ち
読者プレゼント
ご意見紹介
- 28 当世海外事情
— シンガポール共和国



COVER

全国各地で活躍する従業員の姿にスポットを当てています。普段はなかなか聞くことのない皆さんの「はたらき理由」。その続きは特集で。



**Web版Arrowは
お家やスマホでも見られるよ!**
ユーザー名: **bridgestone**
パスワード: **arrow**



※社名/役職名/部署名は 2021年12月24日時点のもの。
※本誌は、森林管理協議会 (Forest Stewardship Council) が認証した森林からのパルプを配合したFSC認証紙を使用しています。

Global CEO 年始メッセージ



(株)ブリヂストン
取締役
代表執行役 Global CEO
石橋 秀一

変化に対応できる「強い」ブリヂストンへ 「実行」と「結果」にこだわる1年に

チームメイトの皆さんの努力と挑戦に感謝

皆さん、あけましておめでとうございます。
年始メッセージをお届けするにあたり、何よりもまず、昨年のチームメイトの皆さんの努力と挑戦に心から感謝を申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大が私たちの生活や事業に大きな影響を与え続けた、昨年2021年。皆さん一人ひとりが安心・安全を最優先に、それぞれの持ち場で工夫を重ね、変化に対応いただいたことが、事業の継続・強化を支えました。改めてチームの強さ、素晴らしさを実感し、誇りに思います。

追い風から向かい風へ 企業としての力が今、試される

2021年通期の業績は、中期事業計画(2021-2023)の2022年計画レベルを1年前倒しで達成する見通しです。皆さんに取り組んでいただいている「経費・コスト構造改革」や、生産現場改善、売値・販売MIX改善などの「プレミアムビジネス戦略」により、「稼ぐ力の再構築」が着実に進み、結果につながっています。一方、半導体不足による新車用タイヤ販売の減速や原材料・海上運賃・エネルギー費の高騰など、ブリヂストンを取り巻く事業環境は、追い風から向かい風へと変わる「潮目」を迎え、今まさに企業としての力が試されています。

変化に対応できる「強い」ブリヂストンへ

私たちは、これまでも「過去の課題に正面から向き合い、先送りしない」「足元をしっかり、『実行』と『結果』にこだわる」・「将来への布石を打つ」という3つの軸で取り組みを進めてきました。今年は、中期事業計画(2021-2023)のちょうど中間地点となる

年ですが、次の2024年中期事業計画(2024-2026)を見据え、2022年初予算ですでに2023年計画レベルに近い目標を設定しています。「稼ぐ力の再構築」を更に推進し、足元を強化すると同時に、環境性能と運動性能を両立する革新的なタイヤ基盤技術「ENLITEN(エンライトン)」の更なる展開や、ソリューション事業のグローバル拡大など、将来への布石も打ち、変化に対応できる「強い」ブリヂストンへ確実に進化していきたいと思います。

一人ひとりに心掛けてほしいこと

今年も先行きが不透明な事業環境が続きますが、中期事業計画を達成し、変化に対応できる「強い」ブリヂストンへと確実に変革するために、2022年は一段と「実行」と「結果」が重要になります。そのために、皆さんに心掛けてほしいことは3つです。

- PDCAを回し、継続的な改善を行う
- ロジカルシンキング(論理的思考法)、デザインシンキング(お客様に共感し、課題を解決する思考法)、アートシンキング(自分の直感・美意識に従い、ものごとを生み出す思考法)、これら3つの思考法を行き来する
- 周りの状況と自分の立ち位置・役割を俯瞰的に見る「鳥の目」と自分の仕事を掘り下げて追及する「虫の目」を持つ

これらを普段の業務の中で実践いただき、皆さん一人ひとりが成長できる1年にしてほしいと思います。「最高の品質で社会に貢献」を胸に、グループ一丸となって挑戦を続けていきましょう。

Global CEOメッセージの詳細はこちら▶

ユーザー名: **bridgestone**
パスワード: **arrow**



特集

私のはたらく理由。

従業員一人ひとりの生き方、考え方が多様化し、個人と「はたらく」ことの関係性も一括りに語ることはできなくなりました。

自分にとって「はたらく」とは何か？ どのような姿勢で仕事と人生に向き合いたい？ 自分を動かす原動力は？

今回は、「はたらく」ことに真剣に向き合い、それぞれの人生を楽しみながら邁進する従業員の皆さんの姿をご紹介します。

読者の皆さん一人ひとりにとっての「はたらく」ことの意味やその先にある未来について、前向きに考えるヒントになりますように。



(株)プリチストン
HRX推進・基盤人事統括部門長
江上 茂樹さん

従業員と会社が共に歩みを進めるために

従業員と会社、双方の幸せを目指す取り組み「B-HRX」。Bスマイルカーブと呼ばれる下の図には、左側で多様な個人、つまり従業員の皆さんを、右側で会社を表現しており、双方が対等な関係で、それぞれの幸せに向かって一緒に成長・挑戦していこうというメッセージが込められています。双方の幸せを実現するために、会社も積極的に取り組みを進めていきますが、皆さんにも自らのはたらく方を見つめ直し、より良い人生を実現するためにはどうしたら良いか、というマインドを持っていたらとうれしいです。

どのような人生を送りたいか、自分にとっての幸せは何か、そして「はたらく」とはどういうことか。会社や上司から与えられたレールを進むだけでなく、自分の幸せを自分で考えていただき、会社もそれを応援する。はたらくことを通じて、会社の成長に貢献していただくと同時に、なりたい自分への自己実現を果たし、充実した人生を送る方が一人でも増えることを願っています。



輝く5人の生き方から見えるもの

プリチストングループのさまざまなシーンで日々活躍している皆さんに、ご自身にとっての仕事の意義と大切にしているライフスタイル、そして目指す未来について伺いました。

いつも背中を
支えてくれた仲間が
会社生活の財産に



(株)プリチストン
中日本生産部門
中日本生産部門長 兼 彦根工場長 (取材時)
内田 洋さん

Profile 1987年、アルバイトとして(株)プリチストン 防府工場へ入社。正社員登用試験を経て、1992年から正社員に。プリチストンアメリカスでの本社勤務を経験後、2007年からは防府工場主任、栃木・彦根工場で品質保証課長、2017年からは防府工場 工場長を歴任。取材時は中日本生産部門長 兼 彦根工場長を務め、2022年1月から米国へ赴任予定。

絶えず支えてくれた 周囲の思い

アルバイトとして入社したプリチストンで最初のチャレンジとなったのは、正社員登用試験でした。当時、アルバイトから正社員になれるのは年間1人～2人。先輩方から業務内容を教わりながらトライを続けました。業務が終わった後に面接練習の時間をいただいたのももちろんのこと、私がモチベーション高く働き続けられるよう、正社員になる理由や、目指したい将来像を何度も確認してくださいました。

周囲の応援に支えられ、無事正社員になって喜んだのも束の間。正社員登用から1カ月が経った頃、私生活で大きな怪我を追ってしまい、仕事を休むことになったのです。突然ぶつかった大きな壁。当時子どもが生まれたばかりだったこともあり「仕事ももっと頑張らない」と思っていた矢先で、上手く身体が動かないことにやりきれなさを感じていました。

しかしそんな状況を察してか、先輩や上司、同僚が頻りに我が家を訪れてくれるよ

うに。しかも、毎回「家の畑でとれたから」「実家から送られてきたから」と言って差し入れを届けてくれたのです。当時はただありがたく受け取りましたが、後から話を聞いたら、わざわざ美味しい野菜や肉、魚を買ってから家に寄ってくれていたとのこと。気づかないところでも絶えず私を思いやり、サポートをいただいていたことに驚いたと同時に、人の支えがあって、自分が存在していることを強く感じました。

考え方が大きく変わった 海外赴任経験

入社12年目に、二度目のチャレンジを経験しました。それまで技能員として働いていた私が、米国に赴任することになったのです。私が担当したのは、エイケン工場立ち上げ時の現地検査員の育成。一から工場を創り上げるなかで「仲間」として働くことの重要性やチームで働く意識の強さを感じました。もしかしたら、私のような国籍や言葉の違う指導員から身振り手振りで指導を受けることは、現地のメンバー

にとって慣れないことだったかもしれませんが。しかし、そのハードルを感じさせることなく、すぐに仲間として受け入れてくれるメンバーの温かさは忘れることができません。仕事は一人でやるものではなく、支えあって前に進めること。それを改めて学ばせてもらいました。

「支えあう」ために、 つないでいくこと

どんなにこの先進むべき道が見えづらくても、後ろを振り返ると背中を支えてくれる手があった。だからこそ、私がここにいるのは周りのおかげだと、今は自信を持って言うことができます。工場長となった今でも、輪の中で一人ひとりが力を発揮できる環境づくり・雰囲気づくりを一番に考えていきたいと思っています。その土台があってこそ、本来の力を発揮できるからです。私のはたらく理由、それは間違いなく「仲間を支え、支えられる職場をつくるため」ですね。



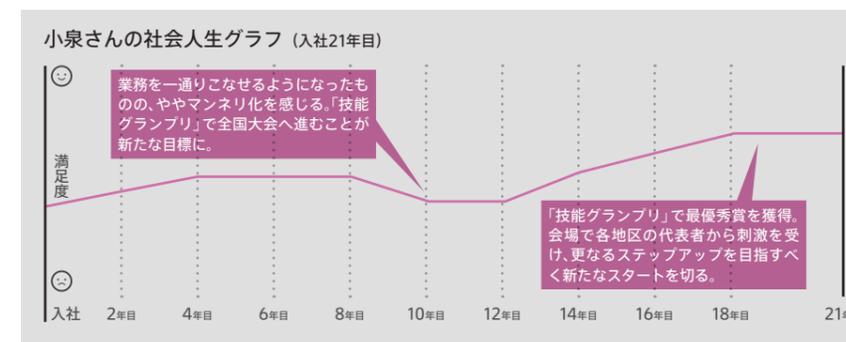


ことでもありました。それは、その時点では自分の力を100%出しきれていないと思っていたから。結果はもちろんですが、自分自身に納得できること、いつの間にかそれが最大の目標になっていたのです。

これまでを振り返って思うことは、「他の人にできて自分にできないことはない」という思いが、チャレンジを続ける原動力になったということ。根っからの負けず嫌いなんです(笑)。現在も、もっと高みを目指したいという思いは変わっていません。燃え続ける情熱を糧に、今後も新しい目標を見つけていこうと思います。

ランプリで初代技能マイスターを獲得した京浜本牧店 鈴木店長の存在です。その人柄や技術の高さを間近に感じるなかで「肩を並べることはできなくても、同じ目線でものを見てみたい」と思うようになりました。目指すべき存在がいつも近くにあったからこそ、チャレンジを続けることができたのだと思います。それに、何より自分で決めた決断を成し遂げたかった。それが自分に対する責任のようにも感じていました。

2019年に最優秀賞をいただいたことは、うれしかったと同時にすぐく予想外な



「諦めの悪さ」が「粘り強さ」に

「技術の集大成として、腕試しがしたい」。入社して8年目、全国に600人いる技能スタッフのなかで、自分の力がどの程度通用するのか知りたいと思ったことをきっかけに、トラック・バスのタイヤ交換などのメンテナンススキルを競う「技能グランプリ」への挑戦を始めました。年に一度開催されるこのグランプリは、実際にタイヤのメンテナンスを行い、技術力の高さや正確性、丁寧さ、速さなどを総合的に競うもの。普段の業務からいかに質の高い作業をしているかが問われます。また各支店から予選大会へ出場できるメンバーは1人だけ。ようやく全国大会へと駒を進めることができたのは、チャレンジから5年後のことでした。

自分で決めた目標、だから叶えたい

挑戦のモチベーションになったのは、グ



ブリチストンタイヤサービス東日本 (株) 京浜本牧店 技能マイスター 小泉 範之さん

Profile 2001年、ブリチストンタイヤサービス東日本(株)入社。京浜本牧店でメンテナンススタッフを務める。2013年からトラック・バス用タイヤのメンテナンススキルを競う「技能グランプリ」個人の部への参加をスタートし、2017年に全国大会へ出場。以降、毎年出場を重ね、2019年に最優秀賞に輝く。また、同年に技能マイスターに認定される。



チャレンジの主語はいつも「自分」。変わることもない情熱が、背中を押してくれる



一歩踏み込んで見えた可能性が
変わることもない
自信へとつながった



(株)ブリチストン デジタルソリューション企画部門 デジタルAI企画開発部長 花塚 泰史さん

Profile 2003年、(株)ブリチストン入社。タイヤ研究本部 タイヤ先行技術開発室に配属後、同部門でデータ分析領域を担当。2017年から現在のデジタルソリューション企画部門(当時デジタルソリューションセンター)へ異動し、AI・データサイエンス技術を活用した各種予測を行うシステムの構築にあたる。

増して担当分野でブリチストングループを引っ張っていく思いが強くなったと同時に、現在の業務を後進につないでいく役割も担いたいと感じるようになりました。

きっかけは数年前、チーム内である若手従業員と出会ったことでした。彼は、自身の専門分野と異なる領域を新たに担当することになり、自信を持っていない様子でした。そんな彼の姿は、まるで過去の自分を見ているようで、何か力になりたいと考え、博士号の取得を勧めたところ、実際に大学院へ進学。彼がどんどん成長する姿を見て、一人ひとりが活躍できる環境を作ることが、今後、自分自身のやりがいになるのだと感じました。以来、「所属員も含めたステークホルダーに、いかに価値を提供できるのか」を軸に考えるようにしています。

今後も業務と人材育成の両方を原動力とし、さらにブリチストングループのDX推進を先頭に立って進めていきます。共にDXを推進するデジタル人材の仲間も募集しているので、興味のある方はぜひお声掛けください。

自分にとっての「やりがい」とは

昨年、(株)ブリチストンでは新たな取り組みとして、ジョブ型コンセプトの導入が始まりました。今私は、そのジョブ型導入のポジションに就き、働いています。以前にも

共同研究自体は1年を経過した頃にリソースの都合で中止を余儀なくされたのですが、学びを続けたい思いが強く、教授に「大学院生として研究室に入って、休日に指導していただくことはできますか?」とお願いし、同研究所に博士課程の学生として入学。平日は会社で業務を、土日は大学でデータ分析を学ぶ日々が始まりました。休みなくデータと向き合ったその3年間は、非常に慌ただしい毎日でしたが、データ分析の領域を社内と社外の両方の視点から見つめ直すことができ、普段の業務に対しても少しずつ自信をつけることができました。この頃から「技術者として、今後もこの道でやっていこう」と思いを固められたように思います。

自分ができることってなんだろう?

タイヤ先行技術開発室で情報分析・データサイエンスの分野に携わり、少しずつ技術を身に付けていた入社4年目、業務にも慣れてきた頃、自分自身のスキルに課題を感じるようになりました。「取得したデータを生かしきれていないのでは?」「別の人がやればもっとうまくいくのではないか?」。自問自答を繰り返すなかで、なんとかブレイクスルーできる機会を探したいと思い参加したのが、大学院の研究所が主催する講演会でした。未来の社会をAIの領域で支えるという内容と、講演する教授の人柄に惹かれて「この分野を極めれば、課題を突破できるかもしれない」と感じ、教授が所属していた統計数理研究所に、共同研究の形で参加することになりました。

社内外でデータと向き合い生まれた、この道でやっていく覚悟

**身近な存在が、
いつしか欠かせない
パートナーに**

小学生から始めたゴルフ。プロ選手になることを目指して、大学に入るまで毎日のようにゴルフ場とスクールで練習を重ねました。「ゴルフの道を極めたい」、そんな思いを胸にプロを目指して練習に取り組むなか、いつもそばにあったのはブリヂストンのゴルフ用品でした。特にクラブは、10年近く形状が受け継がれていながら、プロ・アマチュアを問わず幅広いプレイヤーに使っていただけるよう改良が施されています。その進化を1プレイヤーとして近い距離で感じていましたし、手に馴染んだクラブの数々は、いつしかゴルフ人生に欠かせないパートナーとなっていました。

**もっと多くの人に
ブリヂストンの商品の魅力を
伝えたい**

小さい頃から抱いていたのが、プロに

なるという夢。しかし、大学進学後に周囲のレベルの高さを感じ、その夢を断念することに。その時頭に浮かんだのが、ブリヂストンで働くことです。後押しになったのは、ゴルフ用品の直営店でのアルバイト経験でした。当時は販売業務やフロントの受付業務がメインだったのですが、店舗に立ってお客様と接するなかで「ブリヂストン商品の使いやすさや性能の高さをもっと多くの人に伝えたい」という思いが強まったのです。

**ゴルファーとしての経験を、
今へつなげる**

入社2年目を迎えた現在は、クラブ・ボールのフィッティングサービスをメインで担当しています。お客様に自分の言葉で最適なボールやクラブを提案するなかで、自分自身改めて学ぶことの多さを実感しています。また、これまで身につけてきた技術を生かして使用感を含めたアドバイスができるのも、競技者としての経験があっ

たからこそだと感じています。

ゴルフ歴の長い方はもちろん、これからゴルフを始めたいと感じている方に、ファーストステップとしてブリヂストンの商品を使ってもらうことが今の目標です。長く使い続けられる商品だからこそ、最初の入り口としてブリヂストンを知ってもらい、そのきっかけづくりをしていきたいです。昨年からは、ブリヂストン独自のアプリケーションシステムを使用し、一人ひとりのスイング特徴に応じて、更に飛ばせるボール・クラブを提案するサービス「Golfer's Dock Ball&Club」も始まりました。最新の技術も取り入れながら、お客様とゴルフとの接点を増やしていきたいと考えています。自分が好きなゴルフ、自分が好きな商品を一人でも多くの方にお伝えし、自分と同じくブリヂストンの「ファン」になってもらえるよう、業務の幅を広げていきたいと思っています。



ブリヂストンスポーツ
セールスジャパン(株)
ゴルフ営業本部 販売推進部
東日本販売推進課

山下 拓馬さん

Profile 2020年、ブリヂストンスポーツセールスジャパン(株)入社。ブリヂストンが提供するゴルフ用品の販売促進を目的に、埼玉・群馬・新潟エリアでゴルフのフィッティングサービスや店舗営業を行う。

業務を通して、ファンをつくる。
自分の存在が
その橋渡しとなるように



(株)ブリヂストン
Global CEOスタッフ室
櫻井 麻子さん

Profile 2014年、(株)ブリヂストン入社。マーケティング部門でブリヂストンシンボル(ロゴ)の管理・運用を中心にブランド戦略に携わる。2016年からブランドコミュニケーション部でグローバルのイベントマーケティングを経験。2018年にフランスへ留学。昨年よりGlobal CEOスタッフ室で対外コミュニケーションのサポートや、チームメイトへ向けた発信などを行う。

日本の強みを武器に、
グローバルで勝負していく。
国内外をつなぐ
架け橋であり続けること



業務を通して深まった思い

「日本を軸に、グローバルで活躍できるビジネスパーソンになりたい」、それが入社当時の志望動機でした。初めに所属したのはマーケティング部門のブランド戦略部。海外拠点や関連会社とも連携しながら、ブリヂストンブランドの打ち出し方を考えていきました。その後は、ブランドコミュニケーション部で、ブリヂストンがスポンサーを務める各種イベントや出展するモーターショー、企業博物館などの企画・運営を担うことに。なかでも印象的だったのは、世界のトップクラスのプロ選手が出場するゴルフ大会「WGC Bridgestone Invitational」(米国開催)と、世界有数のソーラーカーレース「Bridgestone World Solar Challenge」(オーストラリア開催)です。ブリヂストンとして、魅力的で意義ある両大会をどう活用できるか、更に盛り上げられるか、現地のチームメイトや代理店と密に協力しながら進めました。そのなかで、現地の皆さんのリーダーシップやスピード感のある働きぶりに大いに刺激を受けました。

**留学経験で
学んだこと・知ったこと**

「海外での仕事の捉え方や進め方を、身

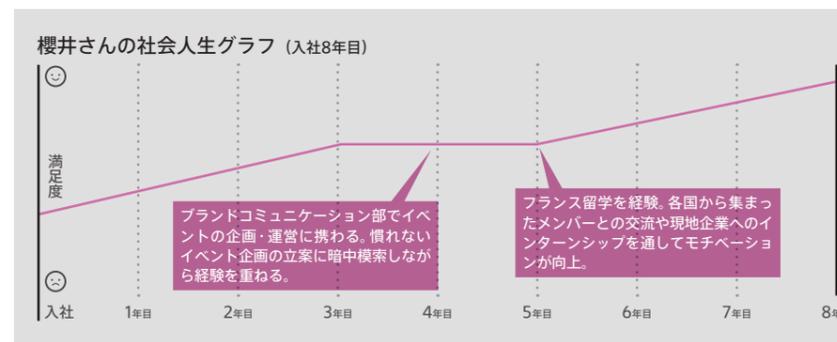
をもって学びたい」。そう考えた私は、入社4年目の夏に自律型キャリア開発休職制度を使ってフランスへ留学しました。プログラムはビジネスの修士号取得を目指す世界各国の若手が集まってくるもので、現地の企業で半年間働くインターンシップ制度も設けられていました。

留学中まず驚いたのは、自分や家族の将来を考えて主体的に行動するクラスメイトや同僚たちの姿勢です。移民する覚悟で自分の国を出てきた人や、キャリアアップのために2つ目の修士号を目指す人も。自ら道を切り拓いていく彼等の姿から、自分の生き方や働き方を見つめ直す大切さを学びました。また、日本のモノづくりの技術や質の高さが、今でもトップレベルとして世界から一目置かれていることを感じて、誇りに思い、「グローバルで戦えるその強みをもっと世界に伝えていきたい。ブリヂストンで働くことを通して、それを叶えた

い」と改めて感じるようになりました。

**次にできることを
考え続ける**

現在はGlobal CEOスタッフ室で、中長期事業戦略構想や中期事業計画などのGlobal CEOの社内外コミュニケーションを、関連部署と連携してサポートする役割を担っています。ここでは、会社が何を目標としていて、現状どのように取り組んでいるかなど、広く見渡す機会が多いのですが、留学を通して、一度会社の外に出て、企業の各機能がどんな役割を持っているのかを学べたことも、今につながる経験になりました。一步踏み出して挑戦してみたからこそ得られたものだと思っています。今後も、興味の種を育て、前向きにチャレンジを重ねていきたいと思っています。



特集 私がはたらく理由。





有識者に聞く 人生と仕事の関わり

従業員のはたらく方と組織の成長について詳しい、多摩大学大学院の須東 朋広客員教授にお話を伺いました。



多様な個の活躍と組織の進化
その両輪が「幸せにはたらく」
ことにつながる

なぜ、一人ひとりの従業員に、はたらく理由を考えることが求められているのでしょうか？

私たちは、「人生100年時代」と呼ばれる時代を生きています。社会の変化は日々目まぐるしく、世の中がこの先どうなっていくか見通すことも難しい時代です。2021年4月に施行された改正高齢者雇用安定法によりはたらく年齢も引き上げられましたが、それでもはたらくのは長くて70歳くらいまで、その先の人生も長い。老後の経済的な不安も出てくるかもしれません。そのようななかで、私たちは人生100年を生き抜いていかなければならぬのです。

このような時代だからこそ、なぜはたらくのか、その意味を考え、自ら人生設計を立てることが必要です。自分の強みは何か、大切にしたい価値観はどのようなことか、自分の軸を置き、それをもとに自分の人生をデザインしていくのです。その結果、年齢に関わらず新しい知識を学び直したいと思うかもしれない、副業やボランティア活動といった社外と交わりを持つことが生きがいにつながるかもしれない。起業するという選択肢もあるかもしれません。人生を心豊かに楽しく生きていくためにも、今、改めて自分の内側に持ってい

る、はたらく意味や価値観と向き合うことがとても大事だと思います。

はたらく上での目標は、どう設定したら良いのでしょうか。また、自己実現を果たしていくために、私たちは何をすれば良いのでしょうか？

「急に“はたらく理由を考える”と言われても、何をすればいいかわからない……」そう感じる方もいるかもしれません。そのような方はまず、日々の業務を見つめ直すことから始めると良いと思います。自分が作っている商品が、あるいは携わっている仕事、社会とどのようにつながっているのか、どのように貢献しているのかを考えてみる。そのなかで自分がどのような役割を果たしているのかを明らかにすることで、自分が大事にしたい価値観や「はたらく」意味のヒントが得られるかもしれません。

もう一つ、所属する組織が変わっても自分が発揮できる価値は何かを考えてみてください。例えば、ミスしにくい仕事の進め方や、多様な知見を得られる幅広い人脈形成など。こうした特定の業種や職種に囚われることのないスキルのことを「ポータブルスキル」と言います。ポータブルスキルをより生かす方法や、逆に足りないスキルを補う方法へと考えを広げていく

多摩大学大学院
客員教授
須東 朋広さん

Profile 日経BP総合研究所 客員研究員、一般社団法人 人才修養学会 代表理事、多摩大学大学院 経営情報学研究所 客員教授。組織におけるサイレントマイノリティの生かし方・活躍に向けた提言活動などを行う。主な著書に『CHO～最高人事責任者が会社を変える（共著、東洋経済新報社）』『キャリア・チェンジ！（共著、生産性出版）』など。

と、自分がやりたいこと、すべきことが見えなくてと思います。

幸せにはたらくために、会社と従業員はどのような関係性を築いていくべきなのでしょう？

今後企業には、より柔軟な取り組み姿勢が求められると考えています。1から10までを手取り足取り教え、決まったルールの上ではたらく方を考えるのではなく、考え方の多様化を受容して主体的な行動を前向きに促え、イノベーションの一助とする支援も必要です。そうした環境づくりを進めることで、組織の活性化へとつながり、ひいては会社が持続的に成長する土壌を築くことができます。

そして、一人ひとりもそのような環境を舞台に、主体性をもってはたらくことでやりがいを感じながら仕事をすることができるのではないのでしょうか。言われたことをただ実行するだけではなく、より良くするために自分に何ができるのかを考え、それを実行することで前向きに業務に取り組むことができます。

一人ひとりが業務に前向きに取り組む、それが企業としての成長にもつながる。相互に良い影響を与え合い、その価値のサイクルが循環していくことを目指していきたいでしょう。

Work sheet わたしの“はたらく方ワークシート”



ここでは、皆さん一人ひとりにとっての「はたらく」意味を紐解くための5つの質問を用意しています。
まずは思いっつくままに、回答を書き込んでみてください。

Q.1 あなたの仕事は社会にどのようにつながっていると思いますか？
どのような価値を提供していると思いますか？

Q.2 あなたは、どのような時にやりがいや楽しさを感じますか？
また、どうしてそのように感じたと思いますか？
最近のことから5年、10年前のことでも思い出してみてください。

Q.3 あなたが思う、自分自身の強みや得意なことはなんですか？
すぐに思いつかない場合は、これまで頑張った経験や大変だったことを乗り越えた経験を振り返ってみましょう。
家族や上司、同僚など身近な人たちから答えてもらうのもおすすめです。

Q.4 あなたがはたらく上で大切にしたいこと・目指したい姿を教えてください。
これだけは人生でゆずれない！と思うことや、憧れの人・理想の自分をイメージしてみてください。

Q.5 Q4の大切にしたいことや目指したい姿を実現するために、何が必要でしょうか？
2022年にチャレンジしたいことも書き出してみてください！

いかがでしたか？書き込んだ言葉の中には、あなたがはたらく上で大切にしたいキーワードが隠れているはず。節目のタイミングや、自分の目指す方向性が見えない時、少し立ち止まってこのシートを振り返り、その都度感じることを書き込んでみてください。

須東先生おすすめの本

『さあ、才能に目覚めよう
新版
ストレンクス・
ファインダー 2.0』
トム・ラス著／古屋博子訳



自分の強みを見える化するツール「ストレンクス・ファインダー」をはじめ、強みを生かすための戦略やアイデア、ヒントを知ることができる一冊。

鉱山・建設車両用の

file.01

大型・超大型タイヤ (ORタイヤ) の生産現場

ブリヂストングループのさまざまな現場の最前線に潜入する新連載。

第1回は、建設や鉱山の過酷な現場のニーズに応える、鉱山・建設車両用の大型・超大型タイヤ (ORタイヤ) を生産する下関工場へ。

ブリヂストンの成長事業の1つである「鉱山ソリューション」を支えるモノづくりのこだわりに迫りました。

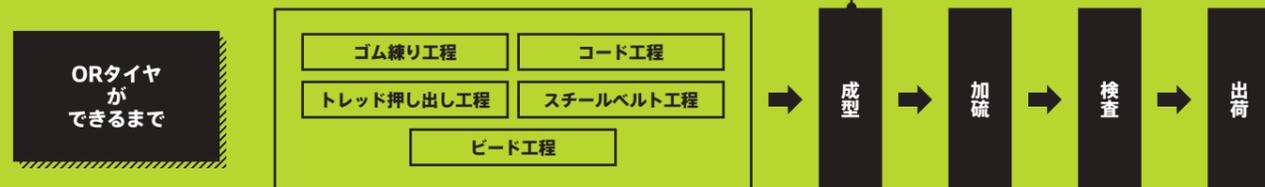


超大型のORタイヤの生産は、60種類以上の部材づくりから始まります。

ホイールと組み合わせるビード、タイヤの骨格となるスチールベルト、路面に接するトレッドゴムなど出来上がった部材を成型すると生タイヤになります。

今回は、加硫・検査工程、出荷の現場を中心に超大型ORタイヤが誕生するまでをご紹介します。

スチールベルトやトレッドゴムを何重にも貼り合わせていく他のタイヤにはない成型工程から、ORタイヤは「作る」のではなく「貼る」と呼ばれています。



押し出し工程でできた荒生地。さまざまな部材に加工されて用いられます。



何本ものワイヤーをゴムで包んで押し出し、リングで巻き取ってできたビード。



成型工程でタイヤの骨格を組み立てるところ。



成型工程でゴムシートを巻き付けるところ。ゴムは長くなればなるほど伸び縮みの誤差が大きくなるため、人の手で調整が必要です。

いざ！生産工場へ！

下関工場

1970年6月、国内タイヤ工場として5番目に操業開始。775人（2020年12月末現在）の仲間が働いています。生産するORタイヤの大半は海外に輸出され、一部は工場から直接船積みされます。



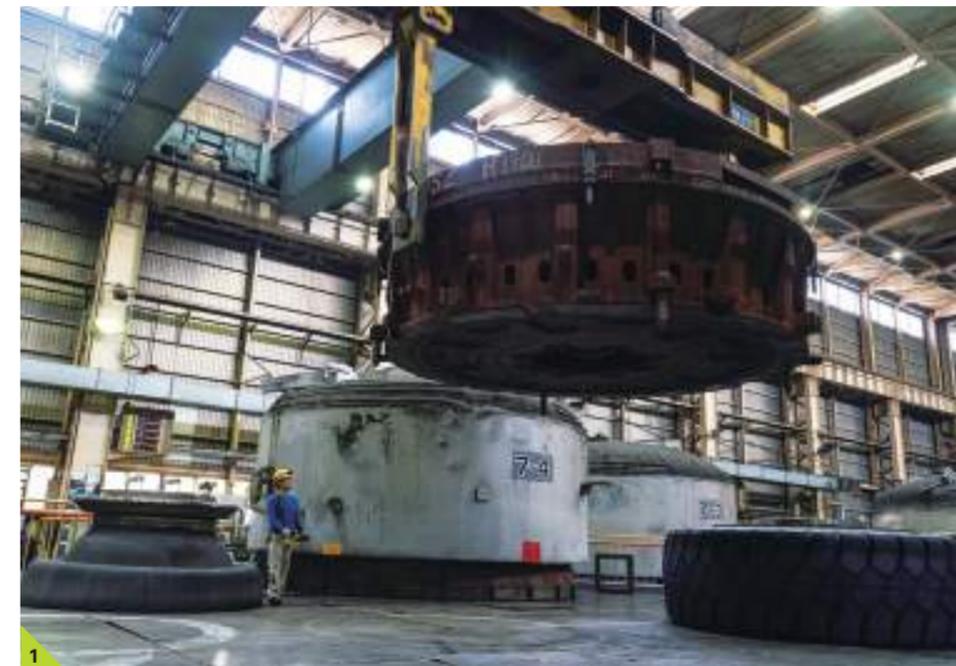
事業拡大を見据えて 100億円をかけて設備を刷新

ORタイヤの旗艦生産拠点である下関工場。中期事業計画に基づく鉱山タイヤ・ソリューション事業強化拡大施策の一環として、一部設備を刷新します。2022年に着工し、2025年末までに新設備を導入する予定で、総投資額は約102億円です。ORタイヤの安定した生産体制を継続確保するとともに、安全・防災・環境・品質および生産性など全てのレベルをこれまで以上に高めていきます。

5本のタイヤを一度に 加硫工程

超大型のORタイヤの加硫は半日近くかかるものもあるため、1本ずつ加硫するのは非効率です。下関工場には、最大63インチの生タイヤを一度に何本も加硫できる多面加硫機があります。上下の金型に挟まれた生タイヤの加硫機への出し入れはクレーンを使って行っています。

1 深さ10メートルに及ぶ加硫機の中から一本目の金型を慎重に取り出します。2 高温での長時間の加硫が完了。加硫機の上蓋（ドーム）を開けると蒸気が溢れ出しました。3 上部の金型を取り外して顔を覗かせたORタイヤ。



熟練のクレーン技術を支えるORタイヤ品質

建設車両用タイヤを加硫する際、大きなクレーンの操作が不可欠です。クレーン運転士の資格を持つ係員でも一人前になるまでに3年がかかり、微細な調整が求められる業務です。製造の最終工程である加硫は、前工程のみんなが作り上げてきたタイヤを製品にする責任があります。お客様の要求品質に応えるべく157人のメンバーが日々努力しています。



ラミ加硫係 主任 辻 浩典さん

船とトラックに積み込み世界へ 出荷工程

下関工場に隣接する下関倉庫のORタイヤの最大保管本数は557本。出荷先ごとに分類され、45インチ以上のタイヤは屋外に立てかけるように保管されています。フォークリフトとクレーンの資格を持つ13人のスタッフが、毎日テキパキと積み込み作業に携わっています。

1 たくさんの超大型ORタイヤが並ぶ様は圧巻。昨年、ブリヂストンの公式Twitterで倉庫のORタイヤ画像を紹介したところ、2.7万件の「いいね」が寄せられたことも。2 最近では、トラックで別の港に運んで輸出されるものも増えてきています。3 直接船に積み込み出荷するのは国内では下関工場だけ。移動式ラフタークレーンで1本ずつ積み込んでいきます。1時間半～2時間半ほどで積み込み完了！



1本1本、心を込めて
送り出す

ブリヂストン物流(株)
下関倉庫 主任
濱野 亮さん

世界でも限られたメーカーしか生産することができない超大型の商品を、1本ずつ、大切に世界のお客様に送り出すことを常に心がけています。1日に出荷されるのは平均70-80本ですが、最近はコロナ禍によるコンテナ不足のため、出荷が滞りがち。普段置いていない場所にも保管しているため、安全には一層留意しています。



1 明るい照明の下での外観検査。光の当て方や目線の位置にも長年のノウハウが生かされています。2 X線検査は必要な部材が正常に入っているか、規格通りにジョイントされているかをモニターで確認。3 タイヤを持ち上げ、規定の位置に設置するのも大掛かり。1本あたり長いものでは15分ほどかけて丁寧に仕上げ・外観検査を行っています。

X線と外観検査で全商品をチェック 検査工程

生産される全てのORタイヤについてX線検査と外観検査を行っています。X線検査は、タイヤの中心部にX線照射装置を入れ、回転させながら外部のカメラで撮影します。外観検査は、タイヤが大きいため見る範囲を20分割以上に分け、全面目視検査を行い異常がないか確認していきます。

下関工場では、この匠の技術とチームワークで工場の品質を守り、お客様への安定供給責任を果たしています。



悪いものを作らせない
攻めの検査

検査係 主任
林 信一さん

お客様に良品をお届けするために、文字通り「1本の重み」にこだわって、兆候管理を徹底しています。検査係として大切なのは、不良品を止めるだけでなく、不良品を作らせないこと。いち早く異常を察知して、製造にフィードバックする攻めの検査で、スクラップゼロを目指します。

超大型ORタイヤの新商品 Bridgestone MASTERCORE

鉱山車両のオペレーションは、お客様ごと、鉱山現場ごとに異なり、また同じ鉱山現場であっても走行ルートが違えばタイヤに求められる性能が異なります。そこで強靱な耐久性を持つBridgestone MASTERCOREでは、他の性能を犠牲にすることなくタイヤの機能をカスタマイズ可能にすることで、「一度の車両の稼働でより多くの鉱石を運びたい」あるいは「より速く運びたい」などお客様ごとのニーズに応えます。これにより、お客様の鉱山での生産性向上に貢献します。

MASTERCOREの5つの機能的価値

- 1 多く積める (タイヤ許容荷重)
- 2 長持ちする (長寿命)
- 3 壊れない (耐久性)
- 4 補修が少ない (耐久性)
- 5 速く走れる (車両スピード)



鉱山現場で使用されるBridgestone MASTERCORE

チーム力で、顧客の期待に応える商品を届ける

重量物、高所作業、高熱を扱うORタイヤの生産現場も常に安全が最優先です。本人も、家族も、仲間も悲しませない、災害ゼロが第一です。その前提の上に、いかに世界の鉱山の現場のお客様の期待に応える商品を生み出せるか。目標を決めて、難しい課題も着実に解決していくチーム力。それが下関工場の強さです。

売れ筋のORタイヤを支える誇りとやりがいを胸に、1本でもより多く、より良いものを届けるために、一人ひとりがそれぞれの現場で、今日も使命を全うします！



超大型タイヤ生産の誇りとやりがい

(株)ブリヂストン 下関工場では、需要が急増している超大型の鉱山・建設車両用の大型・超大型タイヤ(ORタイヤ)を生産しています。今回は、タイヤ製造の成型工程でベルト貼付け業務を担当するお二人に、業務にかける思いを伺いました。

田中 入社してまだ2カ月ほどだけど、もう仕事は慣れたかな。前の仕事は空港での地上業務だったんだよね。

原口 はい、旅客機のハンドリング業務をやっていたんですが、コロナで業界も厳しくなり、また、前々からモノづくりにも興味を持っていました。義父が下関工場に働いているご縁もあって入社しました。実際に職場に立ってみると、想像していたよりもはるかに大きなタイヤを、しかも多くの工程で人の力で作り上げていくことに気持ちがアガりました!

田中 僕も初めて現場に入ったときにそう思ったよ。ORタイヤは大きい分、自動化できないところが多いんだよね。それだけ熟練の技も必要になる。モノづくりの手触り感が得られる仕事だよな。

専門用語など一から覚えなければいけないことは多いけれど、社会人を経験しているだけあって、仕事に対する姿勢や言葉遣いがしっかりしているのはさすがだね。

原口 危険予知については、前職でも意識していたんですが、動くマシンと向き合っているの仕事はやはり勝手が違うので、気を引き締めて取り組みたいです。

田中さんは最初、怖いイメージがありましたけど、現場では温かくご指導いただいています。最初に言われたのは「とにかく怪我をするな」と「一つひとつの作業の点検

と確認をしっかりと行うこと」でしたね(笑)。

田中 そうだったね。取り扱う製品が大きいので、ちょっとした油断が大きなケガにつながりかねないからそこは常に気をつけてほしいな。また、作業の一つひとつをしっかりと点検、確認することで、安全、品質を担保しているんだ。あとは力作業が多いので筋力をつけないといけないね。

原口 体力仕事なので、毎日お腹がすきますね。今は食べることも仕事だと思っています。筋トレも心がけています。現場では、貼付けるゴムも一つひとつがやはり重くて、この仕事の大変さを実感しています。力を分散する技術なども教えていただいているので、1日働き抜く力をまず身につけたいですね。

田中 要領を身につければできるようになると思うんだけど、言葉ではなかなか伝わらないから、作業をやってみて間違っていたり方だったらアドバイスする。その繰り返しで、体に覚え込ませないといけないね。3、4カ月もすればできるようになると思うからあと少しだね。

原口 田中さんがいつも隣にいるので、疑問に思ったことはすぐに相談するようにしています。でも甘えてはいけなくて、いつも緊張感を持って取り組むように心掛けています。休憩中や、就業後のお風呂、またご飯に連れて行っていただいたり、いろんな

場面でいろんなことを教えていただいています。

田中 4班3交代のリズムにも慣れたかな。
原口 そうですね。前職でもシフト業務だったのでそこは大丈夫です。昼でもしっかり睡眠を取れるタイプなので(笑)。

田中 ただ、9月中旬の入社でよかったと思うよ。真夏の暑さを最初に体験せずに済んだから。

原口 ……暑いでしょうね(ゴクリ)。

田中 空調服の導入などでかなり改善されてきているけど、でも、来年の夏までには、一通り現場をこなせるようになってほしいな。

原口 まずは作業標準をしっかり身につけて一人前になることが当面の目標です。そして長期的には田中さんのように、僕も後輩にしっかり教えられるようになりたいです。

田中 若手も多いので切磋琢磨して頑張してほしいね。そして、先輩から受け継いだことを自分の後輩に伝えていくことも、原口さんのこれからのミッションだ。まずは、現場で起きていることをしっかり理解すること、ミスすることなく仕事を回していくことから始めていこう。もちろん安全第一!

原口 ありがとうございます。必死で食らいついていきますので、これからもご指導お願いします!



成型の現場を引っ張り、下関工場全体を盛り上げる存在に

「ムダのない作業と判断力は本当にスゴい。私のお手本です!」



「ベルトの貼付け業務は2人1組。背が高い方が有利だから原口くんはこの仕事は向いていると思うな」と田中さん



「初心者マークから早く卒業して、一人前になりたいです!」と原口さん



「ムダのない作業と判断力をお手本にしています!」(原口さん)、「体力、筋肉をつけて、成型の現場を引っ張り、下関工場全体を盛り上げる存在になってください!」(田中さん)

<p>師匠</p> <p>(株)ブリヂストン 下関工場 製造2課 成型係 田中 拓海さん (2002年中途入社)</p>	×	<p>弟子</p> <p>(株)ブリヂストン 下関工場 製造2課 成型係 原口 基暉さん (2021年中途入社)</p>
<p>マジメで誠実そう</p>	<p>相手の第一印象</p>	<p>職人の風格</p>
<p>少し遠慮がちなところ</p>	<p>相手に直してほしいところ</p>	<p>気づくと横にいてびっくりします…</p>
<p>粘り強く取り組む姿勢</p>	<p>相手の尊敬するところ</p>	<p>思いやりと判断力</p>
<p>カンガルー</p>	<p>相手を動物に例えると</p>	<p>ライオン</p>
<p>安全第一でガンバリましょう</p>	<p>相手に望むこと</p>	<p>今後ともご指導のほどお願いいたします</p>

萩野 公介さん 特別インタビュー

昨年夏の東京2020オリンピック・パラリンピック終了後に引退を表明した萩野 公介さん。私たちはこれまで、その勇姿を近くで応援し、同時に大きな勇気をもたらしてきました。萩野さんにとっての競泳人生とは、そしてプリチストンと共に追求めた夢とは——今回は、萩野さんの挑戦とそれをそばで支えてきたプリチストンの思いをお届けします。

Special interview

トンネルの先に見えた、新しい景色 僕の挑戦が、誰かを支える力になってほしい

気づいたら人生のほとんどを 水泳に注いでいた

生後半年から始めた水泳。いつの間にか生活の一部になっていました。幼い頃の思い出の中で、覚えていることと言えば、練習へ向かう車の中で「今日は何の練習だろう」と考えていたことぐらいです。それ程当たり前に27年間の人生のほとんどをプールの中で過ごしていたし、良くも悪くも、水泳＝萩野公介でした。

だから、レースで良いタイムが出れば「もっと頑張らなければ」と、タイムが伸びなかったら「まだまだダメだ」とレースの結果を自分に投影して、常に自分自身を叱咤してきました。そこで感じたのは、数字で結果が出るスポーツの厳しさ。当たり前「結果を出す」、それこそ僕の存在価値なんだと感じるようになりました。

強さを守るために、 鎧をまとっていた日々

「強い萩野」を守ることが第一になっていた僕は、いつしか自分の感情を表現することを避けるようになりました。もちろん、レースで勝てばうれしいし、負ければ悔しい。だけどそれを表に出すと、自分の軸がぶれてしまう気がして。自分の心をプロテクトして、その分誰よりも陰で努力を重ねていました。

そんな僕に訪れたのが、長い低迷期でした。まるで出口の見えないトンネルの中にいるようで、1日はおろか10秒先の自分もイメー

ジできませんでした。

その後、思い切って休養を決めたものの、「できないこと」を人に伝えるというのは、僕にとってすごく怖いことでした。弱みを見せれば、きっと応援してくれている人たちがっかりさせてしまう。もしかしたら、見放されてしまうかもしれない。そう思いながら、プリチストンの皆さんに気持ちを伝えました。

周囲の声が「一人の人として」の 自分を認めてくれた

当時、プリチストンのある方に言われたことが忘れられません。それは「休んでいいと思います。また水泳が楽しくなったら頑張りましょう。私たちは萩野公介という一人の人間を応援しています」という言葉。びっくりしたと同時に「え、人ってこんなに温かいの!？」と衝撃を受けましたね。今思えば、周囲はずっと変わらない姿勢でサポートしてくれていたのに、それに気づけないぐらい追い詰められていたんだと思います。その言葉をきっかけに「強い萩野」じゃなくてもいい、ありのままの自分を泳ぎで表現できればいいんだって、初めて気づきました。

それ以来、僕の中で、競泳選手としてのあり方が大きく変化しました。やはり一番大きかったのは、結果に囚われすぎず、100%の力を出そうと思えたこと。良い時も悪い時も、まずは全力で泳ぐことで「自分らしさ」やこれまでの人生の全てを表現したいと思えるようになったんです。

萩野 公介さん

1994年栃木県出身。小学校低学年で水泳の学童新記録を更新、中学・高校でも各年代の新記録を樹立し、ロンドン2012大会では400m個人メドレーで銅メダルを獲得。リオデジャネイロ2016大会では400m個人メドレーで金メダル、200m個人メドレーで銀メダル、さらに4×200mリレーでは銅メダルを獲得した。その後、2017年からプリチストンの所属契約選手となり、東京2020大会では200m個人メドレーで6位を獲得。大会終了後に現役引退を表明した。

ありのままの自分で挑んだ 東京2020オリンピック

東京2020大会では、200m個人メドレー決勝のレースを泳ぎ切った後に、心の底から清々しさを感じることができました。タイムも悪くなかったけれど、自分の「今」を、泳ぎで表現できたからだと思います。自分自身の思いを確認して、納得感を持って「引退」を決められたことに、すごく幸せを感じました。

そうして今、僕の次なる夢は、どんな時でも変わることなく支えてくれた方々に恩返しすることです。選手としてのあり方を教えてくれたプリチストンの皆さんには、本当に感謝しています。今後もどんな形であれ、一緒に挑戦のバトンをつないでいけたらと思っています。

萩野さんにとっての CHASE YOUR DREAM

「挑戦のバトンをつなぐ」

「夢」って、年齢や環境に限らずいろんな人の心を輝かせてくれるもの。だけど、この記事を読んでくださっているあなたがもし今大きな壁を感じていて、前に踏み出せずにいるのなら、一度歩みを止めてみてほしいと思います。少しだけ自分に優しくしてみれば、また活力が湧いてきて、夢に向かって再出発できるはず。僕自身、進んだり止まったりしながら、それでも前に進むことはやめずに、人生を歩んでいきます。



もっと知りたい!萩野さんとプリチストン

萩野さんに、プリチストンでの思い出や印象を聞いてみました!

思い出深いプリチストンのイベントは?

「プリチストン×オリンピック×パラリンピック a GO GO!」*ですね。特に玉入れ競技では、子どもたちよりアスリート同士が闘志を燃やしていました(笑)。というも、大林 素子さん率いるチームが毎回優勝するほど強くて。いつか勝てるまで諦めません!



*オリンピック・パラリンピックを通じて「体を動かすよるこび」を伝え、よりよい地域社会の実現を目指していくイベントのこと。オリンピックと楽しむ運動会やレッスンなどをさまざまな地域で実施している(新型コロナウイルス感染拡大により、イベントは一時中止)。

プリチストンのイメージを 教えてください!

誠実な方がたくさんいらっしゃると思っています。初めてお会いした時から皆さんの人柄に惹かれていました。「プリチストンがついてくれば、安心して前を向ける」という思いは今も変わっていないです。



引退会見レポート

2021年10月25日@プリチストングローバル研修センター



萩野さんは「弱い自分をさらけ出しながらも全力で泳ぐことで自分を表現してきた。カッコいい競泳人生だったと思う」とこれまでの競技人生を振り返りました。続けて「清々しく、うれしい気持ちです。周囲に恵まれてここまで続けられたと同時に、本当に頑張ったなと思います」とコメント。会見終盤には、プリチストンからメッセージ動画のサプライズも行われ、会場からは温かな拍手が送られました。

プリチストンより

いつでも仲間でありたい。 変わらない思いで紡いだチャレンジ

(株)プリチストン
オリンピック・パラリンピック推進部
鳥山 聡子さん



萩野さんの挑戦を近くで見守りながら、プリチストンとしても、生き生きと輝くその姿に大きなパワーをもたらしてきました。私たちが決めていたことはただ一つだけ、それは、良い時も悪い時も萩野さんの仲間として寄り添っていきこうということです。だからこそ、辛い時も本人の口からその思いを伝えてくれたことがうれしかったです。プールに帰ってきた時に「プリチストン所属で良かった」と萩野さんに思ってもらえるよう、できることはなんでもしようと思っていました。

今後、萩野さんがどんな新しい挑戦に踏み出されるのか、私たちがワクワクしています。どのような形でも、またプリチストンの仲間と一緒に新たなチャレンジができたらうれしいです。



CHASE YOUR DREAM

Vol.35

いよいよ北京2022冬季オリンピック・パラリンピックが開幕!

今年2月から開催される北京2022冬季オリンピック・パラリンピック大会。

大会ビジョンは2008年の夏に行われた北京オリンピックのレガシーを引き継いだ言葉

「雪氷上での喜びの出会い (Joyful Rendezvous upon Pure Ice and Snow)」です。

夏季と冬季ともにオリンピック・パラリンピックを開催する世界初の都市として注目を集める中国・北京。

この記念すべき大会を、一丸となって応援しましょう!

大会スケジュール

北京2022年冬季オリンピック

2022年 2月 4日 開会式

2022年 2月20日 閉会式

北京2022年冬季パラリンピック

2022年 3月 4日 開会式

2022年 3月13日 閉会式

大会に出場するチームブリヂストン アスリート・アンバサダーの日本選手たち

アイスホッケー



アイスホッケー女子日本代表チーム (スマイルジャパン)

予選日程 ●2/3 vs QU2 ●2/5 vs QU3 ●2/6 vs 中国



ブリヂストンタイヤソリューションジャパン (株)

鈴木 世奈選手

Q ご自身の強みを教えてください。

スピードを生かした攻撃参加です。堅実な守りから攻撃へつなげます。

Q 海外遠征の必需品は?

非常食の乾燥したお米です。荷物が重いアイスホッケーでも気軽に持ち運びできるところがポイントです。北京2022冬季オリンピックでも、エネルギーをつけて今できることを全て出します!

パラアルペンスキー



狩野 亮選手

Q 競技の注目ポイントを教えてください!

スピード感と迫力です。ダイナミックな滑りをぜひご覧ください。

Q 試合前のルーティーンは?

空と山を見てからコースに目を落とし、大自然に感謝してからスタートしています。北京2022冬季パラリンピックでは、もう一度表彰台へ登れるよう頑張ります!



鈴木 猛史選手

Q 競技の見どころは?

パラアルペンスキーは、大会競技の中で1、2を争うスピード感が魅力。状況を瞬時で見分ける選手の判断力や、技術を競う競技での繊細なテクニックも魅力です。

Q 大会に向けて、抱負を教えてください!

目指すは金メダル! 力強い応援をよろしくお願いします!

アローくんの見どころ紹介



雪山に作られた傾斜のあるコースを滑り降り、いかに早くゴールするか、タイムを競う競技。コースには旗門が並べられていて、それらを正確に通過することが要求されます。見どころはなんといってもそのスピード感! 「チェアスキー」と呼ばれるマシンを使用して行う座位カテゴリーの競技では、時に時速100kmを超える速度で選手が雪面を滑り降りることもあります。次々と旗門を通過するコーナリングの技術も注目です。



サステナビリティビジネスを、ここから!

未来のブリヂストンの姿が見えてきた!

こんにちは

アローです!

今回はブリヂストンタイヤリサイクルセンター大阪(株) 代表取締役社長の若井さんにお話を伺います。「こんにちはは若井さん、今日はよろしくお願います!」

若井さん Information

ブリヂストンタイヤリサイクルセンター大阪(株) 代表取締役社長
わかい まさと
若井 真人

大阪府出身。1983年ブリヂストンタイヤ大阪販売(株)入社。グループ各社で自動車用品の販売促進業務、消費財担当部長等を経験後、ブリヂストンタイヤジャパン(株)山陰カンパニーの社長に。2020年1月より現職。

趣味 海外ドラマ鑑賞、休日のスーパー銭湯・サウナ通い(欧米のテレビドラマが大好きです。アクションモノや刑事モノを中心に楽しんでいます)

幼少時代の将来の夢 ものづくりに関わる仕事(決まったものではありませんでしたが、手先が器用でプラモデル作りが得意だったので、近い仕事ができたらなと思っていました)

青年時代夢中になっていたこと オートバイでのツーリング(社会人のツーリングクラブに参加し、兵庫県の豊岡市へ通っていました。そこで食べる「出石そば」が絶品でした)

自身の未来像 健康で充実した生活(仕事優先の生活だったため、家族との時間を大切にしていきたいです)

愛用しているブリヂストン商品 REGNO(長く愛用しています。ブリヂストンが誇る最高のタイヤですね)

Q1 忘れられない出来事について教えてください。

コロナ禍になる前に、リトレッドタイヤの製造現場を見学したいと、運送会社で車両責任者を務めるお客様が来社されました。リトレッドタイヤは、お客様が使用したタイヤのすり減ったトレッド部分(路面と接する部分のゴム)を貼り替えて、再利用する環境対応商品。長い距離を走る運送トラックに装着することで、安全性はもちろん、コストや環境にも寄与します。一方、リトレッドタイヤの市場規模は新品タイヤと比べてまだ成長段階。お客様がどのような反応をされるのかと心配していたところ、見学を終えてかけていただいたのは「手間暇かけて作られているのが分かりました。ぜひ活用させてください」という言葉でした。私たちの取り組む姿勢を通してリトレッドタイヤの商品としての価値が伝わったんだ、と従業員一同、強く励まされました。当社が専門としているタイヤのリユース・リサイクルサービスは、タイヤを「戻す」リサイクル事業を支え、サステナビリティビジネス構想の中核を成しています。今後も確かな品質を持って、お客様、そして社会の未来を見据え、Bridgestone 3.0に向けた進化の一翼を担っていきたく思います。

Q2 マネジメントのお立場で、大切にしていることは?

二つあります。一つは「安全はすべてに優先する」ということです。販売現場から製造現場に異動し、身をもって感じたことですね。製造現場では常に効率化が求められますが、それは従業員の安全があってこそ。安全作業は日々の点検・改善活動の上に成り立っています。そのため、現場にはなるべく顔を出し、皆さんの様子を確認するよう心掛けています。現場に目を配り、社長として従業員の安全を守る存在でいたいと思っています。そして二つ目は、相手がお客様でもお断りする際はしっかりと断るということ。私が適当なことを言って困るのは現場。自分の意志をきちんと伝え、現場に混乱が起きないように心掛けています。

Q3 若いグループ従業員の皆さんへ、アドバイスをお願いします。

昔、上司から言われて心に残っている言葉があります。「実際に仕事をしている時間だけでなく『朝起きること』『身支度をする』こと』など、1日の大半の活動が仕事に結びついている。ならば、受動的に業務を行うのではなく、楽しんでみてはどうか」という言葉です。当時、業務をどこか漫然と行っていた自分に気がつき、ハッとしました。以来、自分なりに日々の業務における課題を見つけて、その改善方法を考えるよう心掛けてきました。どうすればもっと安全性を高められるか、あるいはどうすれば作業のしやすさにつながるか。いつしか課題

の解決方法を考え、達成していくことが毎日の原動力になりました。未来のブリヂストンを担う皆さんにも、日々の業務を少し違う角度から見つめ直し、自身のアイデアを磨くことで、自分だけの経験を重ねてもらいたいですね。

Q4 ご自身にとってブリヂストンはどのような存在でしょうか。

約36年間、販売業務に携わるなかで感じるのが、ブリヂストンがこれまで積み上げてきた信頼の大きさです。また現場を見渡してみると、それぞれに感謝の思いを持ち合っているのがよく分かります。この二つは別ものようですが、しっかりとつながり合っていると思います。特に製造現場では、各人が持ち場で自身の役割を意識していくことが、確実な商品の供給へとつながります。私自身、さまざまな事業所を経験しましたが、その時々で周囲に支えられてきました。今後は感謝の思いを周囲に還元していくためにも、さまざまな方々とコミュニケーションを取り、自分のできることを探し続けたいと思います。



Web版Arrowではインタビューの長編版も公開しています! ぜひお読みください。

輝け!
ご当地
パワー

県民性
見える化
戦略

わが町
わが仲間
職場

SEASON
2

vol.26
和歌山県



今回は、「情熱的だ」「冒険心が強い」「お金にはシビアだ」「職場にライダーがいる」が県民の特徴と言われる和歌山県をご紹介!事業所独自の特徴も1つ加えてリーダーチャートにし、どのくらいあてはまるかを回答いただきました!

※和歌山県は「オートバイ・スクーター普及率」全国1位です(総務省統計局「平成26年 全国消費実態調査結果」)

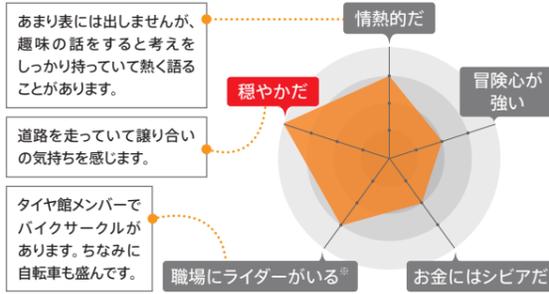
県民性に当てはまることを推奨するものではありません。気軽にお楽しみください。(参考資料:「県民性の人間学」祖父江孝男・ちくま文庫)

A	プリチストンリテールジャパン(株)	住 所 和歌山県和歌山市梶取333-5
	タイヤ館和歌山北	従業員数 5人

紹介者
店長の山口 徹朗さん(左写真・右端)

事業・業務内容
タイヤ・オイル・関連用品の販売、取り付け

今後の目標
一人ひとりのお客様にたくさん足を運んでいただけるよう、ご満足いただける商品・サービスを提供し、お客様の安心・安全なカーライフに貢献していきます。



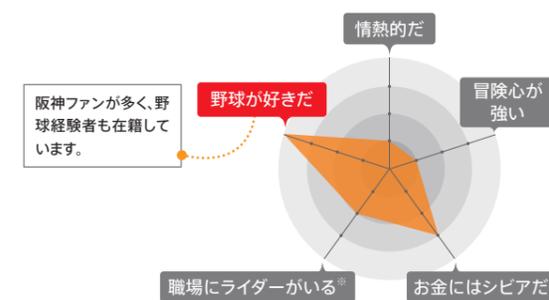
何度も足を運びたい販売店へ

B	プリチストンタイヤサービス西日本(株)	住 所 和歌山県和歌山市築港5-8-9
	タイヤサービス築港店	従業員数 7人

紹介者
店長の田村 孝輔さん(右端)

事業・業務内容
タイヤ販売およびメンテナンス業務

今後の目標
交通事故・作業事故のZD、完全予約制による働き方改革を目指します。



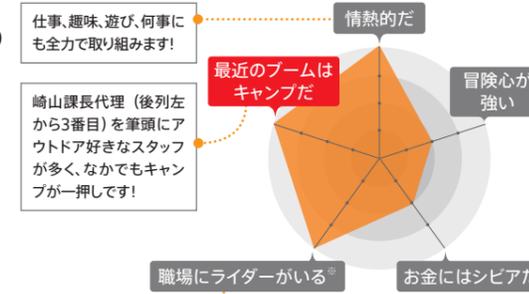
より安全で働きやすい職場に!

C	プリチストンタイヤソリューションジャパン(株)	住 所 和歌山県和歌山市築港5-8-9
	和歌山営業所、和歌山物流センター	従業員数 20人

紹介者
セールスの野口 潤司さん(中列左から3番目)

事業・業務内容
タイヤ・自動車用品の卸販売

今後の目標
一人ひとりが明るく元気で活気のある営業所に!「攻め」と「挑戦」をモットーに「断トツ」を目指します!



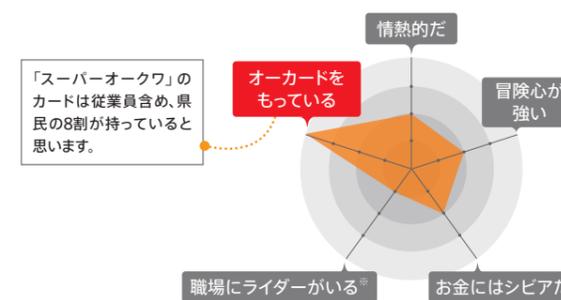
活気あるチームで「攻め」と「挑戦」を実践!

D	プリチストン化工品ジャパン(株)	住 所 和歌山県和歌山市西浜918-2
	産業ソリューション近畿営業1部 和歌山営業課	従業員数 4人

紹介者
課長の岩田 充弘さん(前列)

事業・業務内容
和歌山県内における産業資材商品の卸販売

今後の目標
油圧ホースの県内シェアNo.1に向け、緊急対応体制とソリューション提案営業で、更なるお客様満足度向上に努めます。



県内シェアNo.1を目指します

私たちが
オススメ
します!

グループ従業員の皆さんに、県内のお勧め観光スポット&グルメを教えてくださいました!

白良浜



提供:公益社団法人 和歌山県観光連盟
南国に負けないほどの白い砂です!
プリチストンリテールジャパン(株) タイヤ館和歌山北 山口さん

和歌山ラーメン



提供:公益社団法人 和歌山県観光連盟
豚骨ベースの「井出派」と、醤油ベースの「丸高派」があります。
プリチストンタイヤサービス西日本(株) タイヤサービス築港店 田村さん

みかん



提供:公益社団法人 和歌山県観光連盟
和歌山県を代表するフルーツです。秋にはお客様から頂くみかんが営業所がオレンジ色に染まります!
プリチストンタイヤソリューションジャパン(株) 和歌山営業所 野口さん

高野山



提供:公益社団法人 和歌山県観光連盟
世界遺産として有名ですが、麓にある「天野の里」は豊かな自然に恵まれた地域で、四季折々の田園風景が楽しめる、まさに癒しの里。大人の隠れ家的スポットです!
プリチストン化工品ジャパン(株) 和歌山営業課 岩田さん



Web版Arrowをリニューアルしました!



2021年12月に、Web版Arrowを大幅にリニューアルしました。

これまでより見やすく、情報を探しやすいサイトになりました。普段は冊子版でご覧の方も、新しいArrowをぜひご利用ください!

New! アロー君のつぶやきコーナー

トップページのアロー君がなにかしらをつぶやきます。どんな内容かはアクセスしてみても楽しみ!

New! 新着コメントをまとめて掲載

記事に投稿されたコメントを新着順に表示しています。読者の皆さんの反応をぜひチェックしてください。

■ TOPページ



■ 記事ページ



New! タグ機能を追加

記事ごとに、連載コーナー名や「トップメッセージ」「事業所ニュース」などカテゴリーのタグが付き、同じカテゴリーの記事にアクセスしやすくなりました。



New! リアクションボタンの種類が増えました!

従来の「いいね!」以外にも、「びっくり」「勉強になった」などのボタンも押せるようになりました(表示されるボタンは記事によって異なる場合があります)。



コメントもリアクションボタンも、どんどん付けていってね~☆



Web版限定コンテンツ

秀一のシューイチ

Global CEOの石橋さんより、従業員の皆さんへのメッセージをお届けしている連載企画。コーナー名の通り、ほぼ毎週更新しています。



メッセージボード

リニューアルで新しく実装されたコミュニケーションツールです。皆さんからの質問やアイデア、イベント告知、ナレッジ共有などにご利用いただけます。トピックの作成やコメントの投稿など積極的にご利用ください。



アロー君ブログ

Arrow公式キャラクター「アロー君」がグループ各社にお邪魔し、イベントや取り組みの様をお伝えます。



スマホにArrowをブックマークしよう!

スマートフォンやタブレットのホーム画面にArrowへのリンクを登録することができます。右のQRコードからアクセスし、ぜひ登録してください!



■ Safari



画面下部中央のアイコンをクリック



「ホーム画面に追加」を選択



右上の「追加」または右下の「done」を選択

■ Chrome



画面右上のメニューをクリック



「ホーム画面に追加」を選択



「追加」を選択



ホーム画面に僕のこのマークが現れたら登録完了だよ! アクセスするときは都度ユーザー名とパスワードを入力してね。



メルマガ会員募集中!

毎月メールでコンテンツ更新のお知らせをお送りしています。メールの配信を希望される方は、右のQRコードからアクセスしてご登録ください。

ユーザー名:bridgestone
パスワード:arrow



Voices

お客様の声

グループ各社に寄せられたお客様の声を紹介し、
更にお客様のご期待に応えられるよう、貴重な情報源として役立てていただければ幸いです。



お客様の声の全文はWeb版Arrowでご覧ください！
(ユーザー名：bridgestone パスワード：arrow)

- ♥ お礼・お褒めの言葉
- ？ お問い合わせ
- ★ ご意見・ご要望

お礼・お褒めの言葉

父へのプレゼントを探していただきました

2021年のツアーコレクションキャディバック(マスターズデザイン)を探しています。20年間仕事をしながら1人で子育てをしてくれた父にプレゼントしたくて探していますが、売り切れで見つかりません。父が欲しがっている物なので諦めきれず問い合わせしました。どうか、在庫などないか確認していただけないでしょうか。よろしくお願いたします。(奈良県・女性)

ブリヂストンの対応

上記のお電話を受け、コールセンターと直営店のゴルフガーデン東京とで連携し、お問い合わせいただいたキャディバックを直営店で確保。その後、購入方法など詳細のご説明、直営店での速やかな発送・対応で、キャディバックをいち早くお客様にお届けすることができました。とても喜んでいただいたようで、注文後すぐに以下のお礼のメールを頂きました。

早速の手配ありがとうございました。店舗に連絡し発送の手続きが終わりました。こんなにすぐに見つかると思わず、驚きとうれしさとで連絡してしまいました。父の喜ぶ顔が楽しみで仕方ありません。本当にありがとうございました。

お礼・お褒めの言葉

断水への支援に対するお礼

(2021年10月3日に和歌山市内で発生した断水被害に対し飲料水の配布をしたところ、以下のお礼のメールを頂きました。)

私は、御社と長年お付き合いさせていただいております、和歌山市の会社の社員です。この度は、市北部の断水事案に対しまして飲料水のご提供をいただき、誠にありがとうございます。困った時のご支援ほどありがたく、また「更に頑張ろう」という心の支えになるものはありません。大切にに使わせていただきます。幸いなことに、夜を徹しての応急工事により配水再開の目処が立ってまいりました。まずは御礼を申し上げたく、メールを送らせていただきました。本当にありがとうございました。

？ お問い合わせ

電動アシスト自転車の新モデル、走行距離が伸びたのはなぜ？

「ステップクルーズe」という電動アシスト自転車についてです。自転車店の店頭で2021年モデルを見ていいなと思ったのですが、ホームページを見ると2022年モデルが2021年11月に発売になるようですね。2022年モデルではエコモードの走行距離が200キロで、2021年モデルの130キロから大幅に伸びているのですが、何が変わったのでしょうか。

坂道の多いところに住んでいるので、70キロも走行距離が長くなるなら2022年モデルを買いたいと思っています。(男性)

ブリヂストンの対応

2022年モデルの「ステップクルーズe」では、「走りながら自動充電」の仕様を変更しています。従来は下り坂での自動回復充電機能による制動力が一定でしたが、2022年モデルでは、下り坂が一定時間継続した場合に制動力を上昇させ充電する電力量を増やす仕様へと変更しており、1充電当たりの走行距離が長くなりました。

坂道の多いところにお住まいであれば、下り坂での充電量が増えた2022年モデルをぜひお勧めします。

※走行中にペダルを止める、または左ブレーキをかけると自動で充電する機能

★ ご意見・ご要望

「DUELER」にもLUXBLACKを！

ラックスブラック LUXBLACK[®]、カッコいいですね！良いアイデアだと思います。やっぱりタイヤは黒い方がカッコいいと思います。もっと黒い部分を増やしてください。「DUELER」にもLUXBLACKを採用してください。ワイルドになってカッコいいと思います。ホワイトリボンにも飽きました。

※タイヤの文字や模様をはっきり目立たせ、視認性を高めるデザイン技術。「REGNO GR-XII」(右記写真の「REGNO」ロゴ部分)などに採用されています。



ありがとうの気持ち vol. 64

ブリヂストングループの仲間への感謝の気持ちを、リレー形式で紹介しします。

競い合いながらレベルアップを目指しましょう！



(株)ブリヂストン
日本タイヤ物流企画部
日本タイヤ工場出荷オペレーション課
原田 勝人さん から



(株)ブリヂストン
新技術実行化推進室
先進モジュール製品開発第1課
富永 尚宏さんへ

Thank You!

富 永さんと最初に会ったのは、2013年8月の富士登山駅伝でブリヂストンチームとして初出場した時だったと思います。その後、自宅に近いこともあって近所の練習会に誘ってもらったことが、今の私のランニング環境充実のきっかけとなりました。今のところ仕事上での関わりはありませんが、富士登山駅伝、奥多摩渓谷駅伝、東村山駅伝をブリヂストンチームと一緒に戦い、個人戦ではトラックからフルマラソンまで近いところで競い合い、良い刺激をもらっています。

週イチの練習会でも勝負にこだわって、お互い故障に気を付けながらレベルアップを目指し、その勢いを担当職務のレベルアップにつなげましょう。今後よろしくね！

頼もしい仲間です



(株)ブリヂストン
MCタイヤ事業部
直需販売課
西田 康平さん から

Thank You!



(株)ブリヂストン
那須工場
工場企画管理課
三角 直人さんへ

三 角さんとは、私が生産物流部門に所属していた時から、かれこれ10年以上の付き合いになります。那須工場でMCタイヤの生産計画を担当されるようになってからは、販売計画変動による生産調整などでご迷惑をお掛けすることが多いのですが、時には文句をこぼしながらもいつもしっかりと対応してくれており、とても助かっています。

MCタイヤの中期事業戦略の実現に向け、販売・生産・開発で共に取り組みを進めていく頼もしい仲間として、引き続きよろしくお願いたします。コロナ禍でなかなか工場へ伺う機会も作れませんでした。状況が落ち着いたらまた飲みに行きましょう。

ご意見紹介

特集「変わらない安心をつなぐ BLIZZAK VRX3 誕生！」について

- 今までのスタッドレスも性能が良い商品だと思いましたが、それ以上に良くなったということで、開発された方たちの努力が商品作りに反映され、ブリヂストンの社員としてお客様に自信と誇りを持って販売につなげていきたいと思えます。(ペンネーム：SAKUさん)
- 私が入社した時はREVO GZが発売という時でした。タイヤパタンにも意味があるんだと知ったGZから本当に進化していると思えます。お客様の安全に思いを込めた技術がとても伝わりました。(ペンネーム：azpさん)

「ブリヂストンのデザインの仕事とは？」について

- 自分自身も素人ながらデザインを考えることが多く、プロの考え方を少しでも知る機会が持てて良かったです。また、デザインは外注しているものと思っていたので、内製という事実が驚きました。(ペンネーム：Amyさん)

編集後記

あけましておめでとうございます！
本年のArrowダイジェスト版は年4回(1月、4月、7月、10月)発行の予定です。
従業員の皆さんがワクワク、楽しくなる記事をお届けできるよう、編集部一同虎兇突進していきます。
リニューアルしたWeb版もぜひご覧ください。
本年もArrowをよろしくお願いたします。(編集部一同)

Present!

読者プレゼント!

「さあ、才能に目覚めよう
新版 ストレングス・ファインダー 2.0」
(トム・ラス 著/古屋博子 訳)

特集(P10)に登場いただいた
須東 朋広さんの
おすすめ書籍です。

10名様

和歌山県グルメリレー
締め合わせ
(P22に関連記事)

20名様



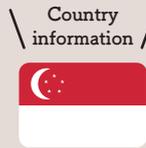
何が届くかは
当選しての
お楽しみだよ!

アンケートのご回答について

ペーパーレス化に伴い、Arrowアンケートへのご回答は、**Webからの回答のみ受け付け**とさせていただきます。右のQRコードよりアクセスの上、ご回答ください。
(ユーザー名:bridgestone、パスワード:arrow)



グローバルで活躍する
ブリヂストンのチームメイトにフォーカス！
海外だからこそそのやりがいや難しさ、
その国のならではの
最新情報などを伺いました！



シンガポール共和国 / Republic of Singapore

公用語：国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミール語
人口：約569万人（うちシンガポール人・永住者は404万人）（2020年）

BSCAPは、シンガポールにある中国・アジア・大洋州におけるタイヤ事業のSBU本所で、タイヤの生産・販売施設の運営を統括し、20カ国以上に商品を供給しています。日本を含め、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマー、インドネシア、フィリピンなど、さまざまな国籍のスタッフ総勢127人が働いています（2020年末時点）。「地域で最も信頼されるリーディングブランド」を目指して、「業界において全てに『断トツ』」の実現に貢献しています。

Pick Out!

Bridgestone Asia Pacific Pte. Ltd. (BSCAP)



From teammates

新たな視点での改善にも
挑戦しています！

Finance Department
西山 惇さん

私が所属するFinancial Planning & Analysisチームは、マネージャー1人、担当は私を含め3人と少数精鋭のチームです。経営層に対して、経営管理や意思決定の判断材料となる情報をスピーディーに提供するため、現地の各会社、日本や他のSBUとも連携し、グループ事業へ貢献できるようメンバー同日々努力しています。

海外ならではのやりがいや、大変なことはありますか？

タイトなスケジュールのもと、チームで密に連携を取りながら資料作成、分析を行い、報告後にCFOから「Thank you」の言葉を頂いた際にやりがいを感じます。納期への意識は国によって差があるように感じるため、密にコミュニケーションをとるように心掛けています。

今後の目標を教えてください！

「稼ぐ力の再構築」により寄与するべく、BSCAPでは現行と異なる視点から数字を捉えることで、新たな気付き・改善が図れるのではないかと、チームで挑戦しています。

私自身としては、赴任してからこれまでの1年は環境に慣れることや目の前の仕事で手一杯になってしまったので、これからはより組織に貢献できるよう精進していきたいと思っています。

FOOD & SPOT

→ 「Makansutra Glutons Bay」のような屋台街は、シンガポールでは『ホーカー』と呼ばれています




シンガポールでは「チリクラブ」という料理が人気です。ガイドブックなどでは「JUMBOシーフード」というお店が有名ですが、マラーイオンの近くにある屋台街「Makansutra Glutons Bay」では、比較的リーズナブルに食べられるので時々足を運んでいます。また、搾りたてのココナッツやライムジュースなども、甘さが丁度よくおいしいです。

OFF TIME



週末は日本人のコミュニティでサッカーをすることが多いです。チームメイトは私と同じように日系企業の赴任者だったり、シンガポールで会社を運営していたり、MBA取得の留学で来ていたり、さまざまなバックグラウンドの方がいます。そういった方たちと交流を図ることができて楽しいですね。コロナ規制が明けたら、ローカルのチームと試合ができるのを心待ちにしています。

コロナ禍 最 前 線

シンガポール政府のコロナ対策指針に則って柔軟に対応し、2021年は5月16日～6月13日、7月18日～8月22日、9月27日～11月21日の期間は原則出勤禁止、それ以外は2チーム制で隔週で出勤していました。テレワーク環境下では毎朝9時のチームミーティングで情報を共有し、Teamsで密に連携を取りながら働いています。社員全員でのタウンホールミーティングもオンラインで問題なく行っています。



↑ オンラインで行われた
タウンホールミーティング

休日は自由に旅行をしたりはできず、外出や外食も制限されることが多かったため、紀伊國屋で書籍を購入して読書にふけたり、テレビでサッカーを観戦していました。シンガポールは日本食がとても充実しているので、デリバリーも活用しつつ堪能しています。他にもコーヒーを豆から淹れてみたり、規制が緩和されてからは美術館に足を運んだりしてリラックスしています。